

磐城時報

編輯部 磐城郡平町新田十四
印刷部 磐城郡平町新田十四
發行部 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四
印刷 磐城郡平町新田十四
電話 磐城郡平町新田十四

磐城育英會の貸金 殆ど返す者がない

この分では將來が不安 昨今では資金喰込み

財團法人磐城育英會評議員は去對し極力懇願に努むる事を申合
る一日午前十時から平町に開催はせられたが、如何に不景氣の深刻
出席議員山崎與三郎、新田日善、中村玄藏、水野虎三郎、中村玄藏、
星友太郎、青沼錦太郎、諸橋守金を返さぬとは没道義も甚だし
次の七氏で、當日の協議事項は昭和四年度の決算及同五年度の
豫算の審議したが本年度の總豫算額は六百一圓で前年度の七百
八十圓より減する事百七十九圓である。元來同會の財産總額は
一萬八千六百四十八圓八十錢で其内事實上運用の出来る金は五
千六百六圓八十錢であるが同會の趣旨として、該資金に成る可
く手を着けず今日まで育英資金に投じた六千餘圓の返還金及
び其他の雜收入によつて現在の資金に充當する方針であるが、
如何なる事情か毎年返還される金が二百圓内外にとどまり、
毎年六百圓内外を要する貸與金に不足を來し、其れが爲め昨年
度の如き百圓資金喰ひ込みを爲し本年度も五百五十圓の貸與金
對し返還金百七十圓見當に見て約七十圓からの資金喰ひ込みを
せねばならぬ現状にあるので此の儘推移せば將來を案せられる
ので、前記六千餘圓の返還金に

小柳知事 蠶況視察

小柳知事は濱通り蠶況視察のため四日双葉郡浪江町から新山、
富岡、龍田、久ノ濱各町村を視察して石城郡四倉町に入り草野
植田、錦、勿來、湯本各町蠶況視察湯本町一泊、五日平町を經
て小野新町に向ふ豫定である。

山城屋の整理に 個人和議法適用

平町四丁目雜貨商江尻淺之助氏は資産約八萬圓を有して居るが債務十二萬圓に達し收支償はず債權者に對し半分を減じて費ひ四十六ヶ月賦で整理すべく交渉中であつたが、債權者間に交渉場静子、吉川勝江の三嬢が來りマネキン嬢、三嬢三日夜來りけふ來平

町民に注意 區長を通じ

町有地無斷使用 平町内の町有地を最近無斷で使
用し或ひは塵芥を積み甚だしきに至つては町有道路に建物を建
て平氣である者もあるため、同町では一日各區長に命じ町民各
戸に對し、かゝることなきやう注意するところあつた。

猪狩刑事賞與

警察事務猪狩勇次郎氏は窃盜犯青木善吉、大串富松、詐欺犯佐藤精次郎、志賀光成の四名を逮捕した功により小柳知事から七圓を賞與された。

藥劑士總會

石城郡藥劑士會總會は来る十五日午前十一時から平町南町丸昌軒に開き、縣衛生課技師の講演がある。

息子の喫煙を 知らぬふりの父親

平署で處罰さる 石城郡赤井村大字赤井字大倉鈴木勝善(四六)長男喜雄(十八)は二月から五月三十一日まで未成年であり乍ら喫煙してゐた事發覺、實父勝善はその情を知り乍ら注意をなかつたと言ふので三日平署署で未成年者喫煙禁止法第三條によつて科料處分に處せられた。

自動車検査

平地方の 平、植田、四倉三警察署管内に於ける自動車定期車臺検査は去る三十日から三日まで平町八幡小路警察署中グラウンドに於て縣保安課から係官が出張して執行中であるが、今回の検査は自動車交通事故防止の目的から從來の如き形式一片の検査ではなく極めて嚴重なる検査であつて二十臺以上は検査の結果廢車になるものと見られてゐる。

隣の女房に説諭願

官幣社格は 平町大工町一四吳服商佐藤庄吉は一日平署に願ひ出たので同妻(三八)は昨年三月から夫署では事實取調への上適當の解が仙臺方面に行商に行つて居る決をつけることになつた。

町税差押 物件公賣

開始した結果出生死亡の地に非ず、單に足をどめて歌を詠んだにすぎない事は神社建設の理由としては余りに縁遠い事とし、認可は當分見込なきもの、如くである、従つて發起人は更にその理由につき詳細な調査を開始したが、何れにせよ實現までには相當日数を要するものと見られてゐる。

高橋五段來平

東京市將棋五段高橋誠之助氏は此程來平、平町新川町將棋俱樂部で同好者に指南中である。

四倉濱で 鯉の初漁

石城郡四倉町長谷川清九郎所有の鯉船福壽丸は千葉縣勝浦沖に於て鯉千尾を漁獲し二日夜四倉濱に水揚げしたが、之が四倉濱に於ける鯉の初魚であつて、相場は十一割であつた。

オシヤベリで困る 隣の女房に説諭願

官幣社格は 平町大工町一四吳服商佐藤庄吉は一日平署に願ひ出たので同妻(三八)は昨年三月から夫署では事實取調への上適當の解が仙臺方面に行商に行つて居る決をつけることになつた。

困難たらう

勿來の關趾に別格官幣社格の義家神社を建立すべく昨年來田中智學氏を中心として勿來町は勿論茨城縣關本村、平瀧、大津兩町と相提携して準備を進め、關係書類を内務省に提出した事は既報の如く、大いに期待をいだかれ、昨今内務省が調査を

漁夫六名を 詐欺で告訴

石城郡江名町船主白田又兵衛は双葉郡福浦村安部一、清信幸太郎、大橋要助、清信竹松、澤藤末治、志賀吉次の六名を相手取つて平署署に詐欺の告訴を提起したが、理由とする處は前記六名は本年三月、一人三十圓内外の金を借りて乗組む契約をし、約束を履行しないといふにある。

關東北庭球大會

平町磐城軟球協會主催第三回關東北軟式庭球大會は六月十五日磐城中學校コートで舉行する。

謹告

本社主催第二回縣下中等學校野球大會を左の如く開催致します。

- 一日時六月二十二日
- 一會場 平町磐城中學校球場
- 一 本年參加校
- 一 磐城中學校
- 一 雙葉中學校
- 一 相馬中學校
- 一 安田中學校
- 一 積中學校

試合方法 優勝戦

一 試合方法 優勝戦

主催 磐城時報社

物件公賣

平町では四年度前期特別戸數割國縣賦課課等の徵稅滞納者に對し差押へ處分に附し整理中であつたが、どうしても納入せぬ者二百五十名は愈々來る十一日午前十一時から役場に於て差押へ

田中一郎氏に 脅迫状

石城郡高久村居住元権太高等女
學校長田中一郎氏は四月の新學
期より私立磐城佑賢學舎教諭に
招かれたが「職に就けば捨て置
かぬ」と云ふ脅迫状が同氏宅に
數本舞ひ込んだのに驚き教育界
入りを断念し、以來中町教育界
の問題となつてゐたが同舎大和
田舎長の懇請に依り二日から同
舎に教鞭を取ることになった。

やみしあと 登志子

十日ほどやみたるあとの力な
瓶のつらさ色あせしまゝに
すまふまのほこり氣にして掃
除しぬ姉様かぶりも久々にし
て
遠き山近き青葉も心よしみな
戸をくりて風を入れたつ
臥す事もわれにはたのしあざ
けりの笑ひの中にひさりある
身は
のみ物も心すすまやかくれてゆ
く色こき空のなほしかりけり
かなしみもまた病むこともこ
らへ得て心ゆたけき朝の空か
柿の葉のさやかにゆるゝ影み
えて明るき朝の隙子なりけり

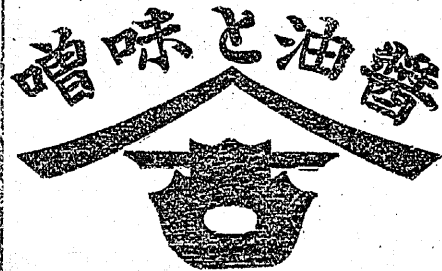
入山演武會

石城郡
湯本町入山炭礦演武會は一日午
前十時から同礦自治館に於て催
されたが、有段者の試合多數あ
り盛會であつた。

貸家あり

平町字新川町十七番地
商店向き一ヶ所
家賃 十四圓五十錢
十五圓五十錢
何れも水道の便あり
平町新川町(電話二三三番)

中野勇吉



鹽島縣平町
山崎合名會社
東京支店
電話 下谷五七二二番
飯登東京一九七五五番
上野車坂四二二番

タクシーの御用命は
新しい氣持のよい
昭和タクシーへ
電三四三番

平町田町(電話五二三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

六月一日より
夏物新製品大賣出し
涼味溢る、今夏の流行品を各種豊富に取揃へて
品質に... 価格に... 自信ある新製品
昭和五年流行界の
中形各種陳列
婦人俱樂部ゆかた、表現ゆかた
昭和調婦女界ゆかた、繪羽模様
ゆかた、リリー、グ戦ゆかた、外數種
粹で! 高荷な!
紹廣帯と單帶陳列 階上 特手拭中形六十錢
品友仙モスリン九錢
紹廣帯 紹友襪 階上 品友仙モスリン九錢
モス友仙 紹友襪 階上 品友仙モスリン九錢

三井呉服店
平町 電話三五八番

氷水開業廣告

氷水を相始めました、本年は左の如く値下
げを断行しましたから多少に不拘御用命御
引立の程を願上り上げます。

水	八錢	氷あつぎ	十錢
同いもん	八錢	同しら玉	十錢
同ぶどう	八錢	同ラム水	十錢
アイスクリム	一ぱい	同ラム水	十錢
あづきアイス	一ぱい	同ラム水	十錢
ミルクアイス	一ぱい	同ラム水	十錢
水セーキ	一ぱい	同ラム水	十錢

御注文は電話三〇五番へ出前迅速
平町字二丁目 藤市

徒弟募集

一家具徒見習 五名
本年尋常又は高等卒業者
右希望者は履歷書御送附を乞ふ
丸町 製はん家具店

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五(電話七三三番)
川井内科診療所
醫學士 川井 重子
女 醫 川井 安子

内柳病科 小兒科 (入院應需)
藤沼醫院
平町 電話平園五〇七番

外科一般

醫學博士 藤本 順
産婦人科
院長 木村寅次郎
平町新川町(電話一六四)
木村病院

美神丸
BISHINGAN
代理店 平町五丁目 山野邊藥局

安齊外科醫院

性病科 X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡
電話 四七五

印刷物は... 加納活版所